

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

京の住まい雅の家

グループの名称

京の住まい雅の家プロジェクト

直近採択グループ番号

04-0549-0504

(グループ代表者)

代表者名

穂積 靖浩

代表者印

代表者所属先

穂積工務店有限会社

代表者所在地

京都府京都市山科区四ノ宮岩久保町23番地の15

代表者電話番号

075-592-7456

(グループ事務局)

事務局事業者名

稲垣建材株式会社

事務局担当者名

稲垣 博之

印

事務局郵便番号

612-8332

事務局所在地

京都府京都市伏見区樽屋町998

事務局電話番号

07-5622-0131

事務局FAX

07-5622-0901

事務局担当者E-mail

h-inagaki@inagakikenzai.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		9	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	9	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	2棟				
			230㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	会社に1戸の割当てを第一とし、受注が確実視されている工務店に優先的に配分する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 京の住まい雅の家	(地域型住宅供給対象地域) 京都府近隣地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 京の住まい雅の家プロジェクト	(結成年) 2013 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0549-0504	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・長寿命型住宅については、断熱等級4以上とし、耐震等級は2以上とします。 ・高度省エネ型住宅については、一次エネルギー消費量5以上とします。また、夏の暑さ、冬の寒さに備え、開口部にはLow-Eガラスを標準とします。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・地域材を活用した原則、木造軸組工法とします。 ・耐震性を考慮し、24mm以上の剛床工法(2階床面)を推奨します。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・和を基調とした京都の伝統や歴史を取り入れた町並みになじむ家を推奨いたします。 ・京の趣のある住宅を基調とし、夏の日差し対策として軒を延ばした家とします。(法令制限、施主の意匠など一部例外を除く)	◎
④①～③の背景	【京の住まい雅の家が目指す住宅】 京都の住宅はうなぎの寝床とよばれるような間口が狭く奥行きが深い間取りが多くみられる。川床、打水など自然に調和した習慣があり趣のある文化の薫る地域でもある。そこで京都の風土と歴史を踏まえ、ゆとりと趣のある家づくりをコンセプトとして提案していきたいと考えております。以上の点を考慮し、本グループでは、長く安心して住み、京都の景観や町並みも調和した和を基調とした優雅さのある家づくりを目指すものと致します。さらに地域産業の活性化をはかる為に主に京都府産材を中心とした木材の有効な活用や京都の伝統の技「京の名工」の量、昔ながらの瓦、屋根の上の守り神の鍾馭さん、窓の格子等の取り入れを推進いたします。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・長く安心して住める家づくりをコンセプトとして、点検、メンテナンスを行うだけでなく、住まい方・暮らし方を踏まえた地域の工務店による見守り(家守り)につとめるものとします。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・プレカットの利用により、用材の単一化につとめております。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループの長期マニュアルで推奨している建材等を施工業者に提案することで、建材の統一につとめます。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・ゼロエネ住宅、低炭素住宅などへの取り組みに向け外皮性能の強化仕様、省エネ基準仕様を設定します。(断熱材と開口部)	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・使用量の多い建材、資材については、配送などの円滑な供給体制の構築につとめます。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・用材や資材などは、リスト等を活用し、事務作業の合理化につとめます。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・各流通業者が中心となり、商品の在庫や価格、新商品の情報についての現状を把握し、定期的な打合せをすることで、合理化への進捗と改善につとめます。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が建築計画や進捗状況を把握して、供給業者と連携することで合理化につとめます。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・フラット35木造住宅工事仕様書や省エネ講習会のテキストを活用します。 ・長期優良住宅等の基準の適合については、グループの長期マニュアルや、提携サポートシステム利用によりおこないます。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・建築確認、瑕疵保険、フラット35などの検査と施工工程ごとに現場写真や書面等による施主への説明と報告を適宜おこないます。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「雅の家お見積参考価格表」を作成し、施主への明瞭な価格提示や説明につとめます。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループのホームページにより本事業のPRをおこない、本グループや事業内容についての知名度の向上を目指します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・資金相談やローン(フラット35)相談などにより、住宅購入資金についてのサービス向上につとめます。(提携サポートの活用) ・京都府産材の補助金や優遇税制、すまい給付金などの案内により、施主への信頼向上につとめます。	◎

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 京の住まい雅の家	(地域型住宅供給対象地域) 京都府近隣地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 京の住まい雅の家プロジェクト	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0549-0504	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・第三者機関による履歴管理システムを活用し、履歴情報の保管、蓄積を行います。(長寿型のみ必須)	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・履歴管理システムの提携先として「住宅履歴の図書館」を推奨しております。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・30年に亘る履歴管理を利用し、施主と地域工務店により履歴の蓄積、管理を行うものとします。(長寿型のみ必須)	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理計画書やチェックシートに基づき点検を行います。(長寿型のみ必須)	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・インスペクションの基準等を活用し、補修などを適宜、施主に提案いたします。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・履歴管理システムの点検通知などを活用し、定期的な点検、メンテナンスを実施し、施主への適切な報告を行います。(長寿型のみ必須)	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工業者向けに住まいの管理と維持保全についての勉強会をします。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・完成見学会やショールームで住まい管理セミナーなどを行い、施主の意識向上につとめます。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・家守りなどを通じ、各施工業者により相談等を行うものとします。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループの各工務店による見守りと、定期会議等で維持管理について検討いたします。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域工務店として住まい手への長期にわたる住まいの維持管理を行います。(家守りの使命)	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・バックアップ体制として、緊急時には事務局を中心に対応しグループ内の工務店へと引き継ぐことで、住まい管理の維持継続につとめます。(実績あり)	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定例会で施工業者の体験や瑕疵保険の事故事例などの勉強会を行います。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 本グループでは町屋の工務店による地域に根ざした活動に取り組んでおり、引渡後の住宅の見守りにより住まいの安心・安全と住まい手の暮らしを守るお付き合いを目指しております。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・長期優良住宅、低炭素住宅への取り組みの経験がない工務店には、施工技術・知識の向上に向けた研修会や個別勉強会を計画しております。(2ヶ月に1回程度) ・施工経験の豊富な工務店には、省エネ性の高い高度省エネ住宅や資金相談、ローン等のセミナーを予定しております。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各検査の適合証、検査証などを説明の上、引き渡すものとします。(グループのチェックシート活用)	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループの引渡しのチェックシートを事務局に提出することで確認をするものとします。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住給計画として省エネ性に優れた住宅を提供することで、グループ全体の新築着工数の増加につとめます。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・京町屋の大工・工務店が多いため2020年の省エネ義務化に向け、未経験工務店のレベルアップと、長期経験工務店による高度省エネ住宅への取り組みを進めております。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・工務店は、平成28年度省エネ基準の標準仕様に向け取り組むとともに、工務店以外のグループ構成員は、省エネへの知識や制度の習得に努めることで省エネ関連資材の円滑かつ合理的な流通をはかるものとします。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 12 今年度の参加目標人数 8	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 6	◎	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり、省エネ技術講習会の開催をグループ工務店に提案いたします。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定例会、セミナー等で断熱材や省エネ商材をグループ工務店への案内や提案により、スマートハウスやHEMS、ゼロエネ住宅の導入促進を目指します。	○
② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・自然素材による断熱材セルロースファイバーを推進しており、快適性と環境に優れた住まいづくりを目指しております。また、断熱性能だけでなく調湿、防音にも優れたワンランク上の住宅仕様の提案を目指します。	○	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 国策、補助金についてのセミナー等も開催し、幅広い提案力の向上を目指します。また、地域の異業種との交流会に参加し、地域社会との連携につとめます。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 京の住まい雅の家	(地域型住宅供給対象地域) 京都府近隣地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 京の住まい雅の家プロジェクト	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0549-0504	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】

		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する	
①	共通 ルール(必須)	◎
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	◎
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	② グループ全体における地 域材の需給予測	○
c	①-1 畳の活用	◎
	①-2 和瓦の活用	○
	①-3 襖の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	◎
d	① 地域の伝統的なデザイン を継承する取組	○
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与 する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取入 れた取組	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	◎

京の住まい雅の家プロジェクト 地域材供給フロー

地域材供給業者

京の住まい雅の家プロジェクト 地域材供給フロー

京都府産材認証制度
合法木材証明制度
(国内・国外)

原木供給等(一部)

京都の地域産業者

設計者

素材・集成材・合板事業者

流通業者

施工事業者

材木供給者

プカット業者

京の住まい雅の家

京の風情と文化・安全
暮らしを守るお付き合い

長く安心して住める家づくりをコンセプトに、点検、メンテナンス！
住まい方・暮らし方を踏まえた地域の工務店による見守り！

カ. その他

【平成29年度対応方針】

		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 京の住まい雅の家	(地域型住宅供給対象地域) 京都府近隣地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 京の住まい雅の家プロジェクト	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0549-0504	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型の特徴

・京都市内では、気候は年間の温度差が大きく朝夜は底冷えするちいきでもあり、高度省エネ住宅への需要が高い地域だと想定されます。また、古からの街並みが残る地域でもあります。そこで、本グループでは、高度省エネ住宅の基準を満たすだけでなく、街並みになじむ住宅を目指しております。

【認定低炭素住宅】

・認定制度が市街化区域などに認定地域(京都市、宇治市等)が限定されているため対象地域の工務店に対しての勉強会を行います。定量的項目については、住宅の一次エネルギー消費量を10%以上の削減を行うものとします。なお、断熱材については、地球にやさしい自然素材であるセルローズファイバーを推奨しており、湿度の高い地域での快適な生活を提案します。選択的項目については、①木造住宅として地域材の活用、②節水機器、③雨水、井戸又は排水利用、④ヒートアイランド対策、⑤太陽光発電、蓄電池、HEMSなどを取り入れたスマートハウス提案などを推奨しております。

【性能向上計画認定住宅】

・平成28年4月施工の建築物省エネ法に適合する住宅とします。なお、一次エネルギー消費量10%以上としており、省エネ性能が明確な第三者機関の証明であるBELSの適合を取得することを推奨いたします。

- ・設備機器については、省エネ性の高い機器の設置を推奨しております。
- ・平成28年度の新しい制度のためグループとして勉強会等を実施し今後の利用促進を行います。
- ・低炭素住宅では建築できない地域でも、認定されるため、市街化調整区域での利用促進を目指します。
- ・施主にたいしてはBELS認定を推奨し省エネ性能について数値化し、光熱費等へのランニングコストの削減のアピールにつとめるものとします。

【ゼロエネルギー住宅】

・2020年のゼロエネルギー住宅の標準化と、経済産業省でのZEHによる普及促進に対して、地元工務店による省エネ住宅への取り組みとして以下のルールを定めました。
 ・省エネ地域区分は、4.5地域を対象とし、一次エネルギー消費量の算定方法として平成28年省エネ基準によるBELS認証を採用しております。
 ・一次エネルギーの削減率として、住宅全体(R値)としては100%を超えるものとし、太陽光発電を除く削減率(R0値)を21%以上としております。→地域ごとの削減率がある場合には、その数値を記載する!

- ・狭小地の多い京都のため太陽光でのゼロエネルギー化については、施主希望や資金計画、その他建築条件などを加味し慎重に進めるものとします。
- ・優良建築物については、地元の地域材の活用につとめ、街並みになじむ建築物を目指しており、低炭素建築物の基準を遵守した仕様とします。
- ・地域産材を主要構造部その他に積極的に活用するものとします。
- ・省エネ基準より10%以上の削減を行うものとしており、BELS認定を推奨しております。建築物省エネ法7条により積極的にアピールするものといたします。

※様式3の共通ルールのなかで、非住宅である優良建築物については、住宅向けのルールについては原則として含まないものといたします。→住宅の履歴管理、メンテナンス、瑕疵保険への入会、基礎配筋検査活用など